

資料

ソフトウェアシステム開発

シーケンス図の作り方

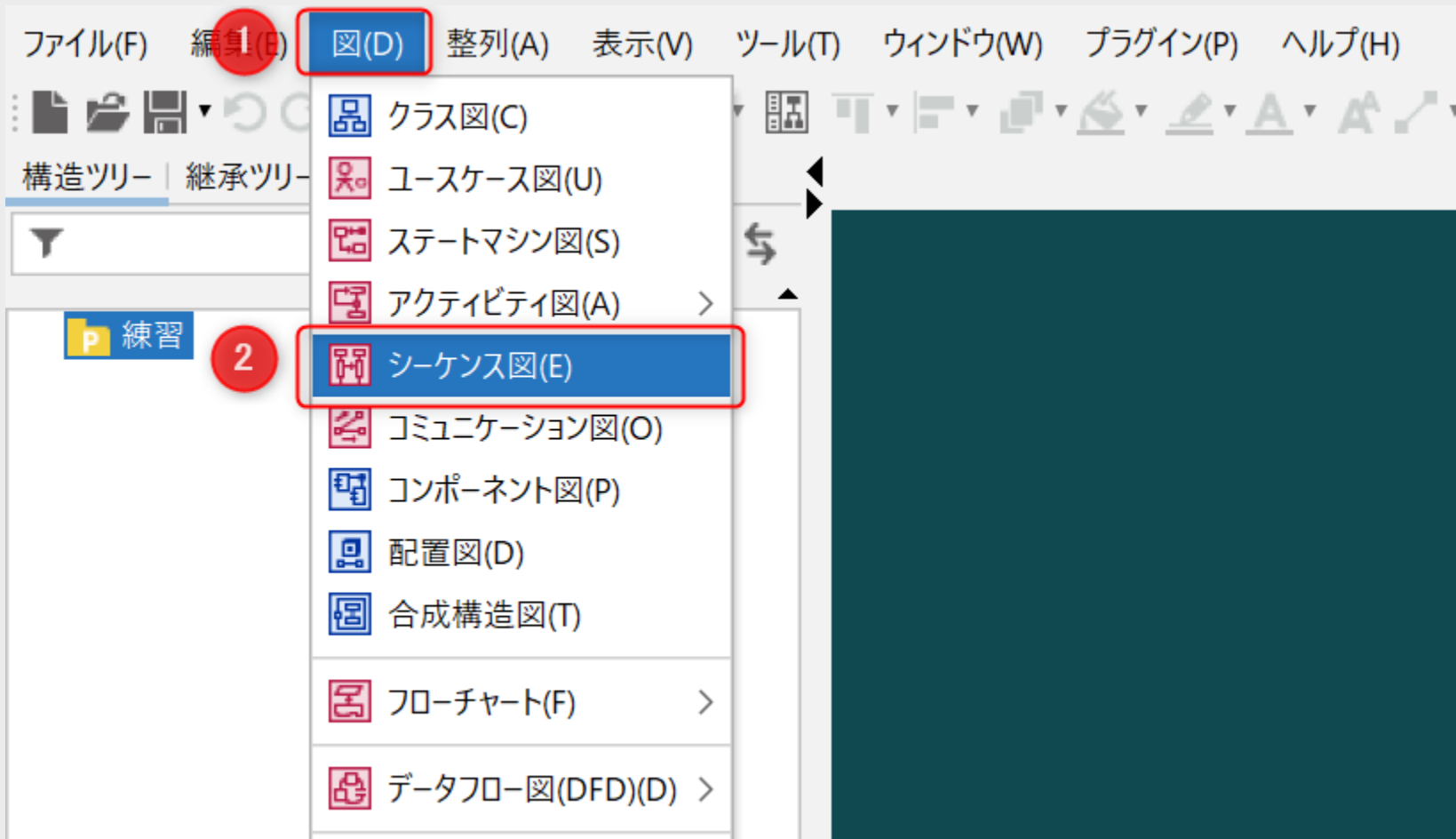
- Version 1.0
 - astah* professional によるシーケンス図作成



シーケンス図を追加

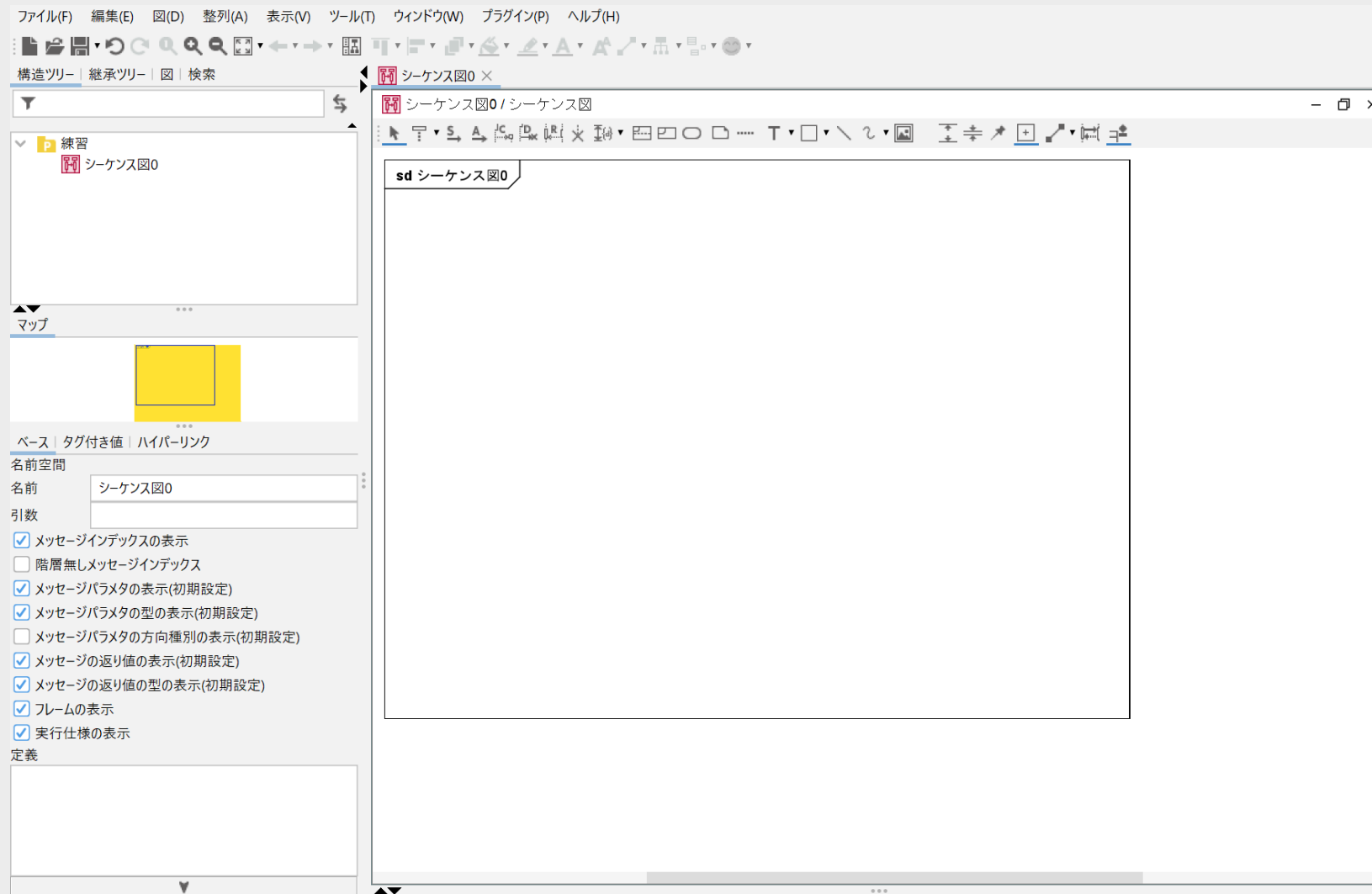
シーケンス図を追加

1. メインメニューの「**図**」から「**シーケンス図**」を選択する。



シーケンス図を追加

2. シーケンス図のタブが追加されて以下のような編集画面になる。



シーケンス図の作成

シーケンス図の作成

よく使うシンボル

ライフライン
※アクターはライフライン
のリスト中にある

メッセージ

リプライメッセージ

選択

複合フラグメント

The image shows a software toolbar for creating UML sequence diagrams. The toolbar contains several icons, with five of them highlighted by red boxes and labeled with callouts:

- 選択 (Selection):** A mouse cursor icon.
- ライフライン (Lifeline):** A vertical dashed line icon. A callout points to it with the text "ライフライン ※アクターはライフラインのリスト中にある".
- メッセージ (Message):** A solid arrow icon.
- リプライメッセージ (Reply Message):** A dashed arrow icon.
- 複合フラグメント (Composite Fragment):** A rectangle with a dashed border and a small 'R' icon.

Below the toolbar, a dropdown menu is open, showing a list of lifeline types:

- ライフライン
- ライフライン(アクター)
- ライフライン(ビジネスアクター)
- ライフライン(Entity)
- ライフライン(BusinessEntity)
- ライフライン(Boundary)

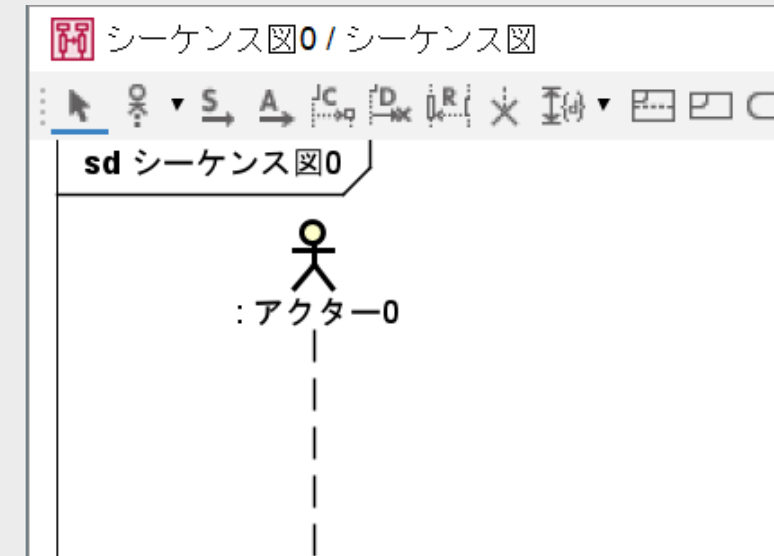
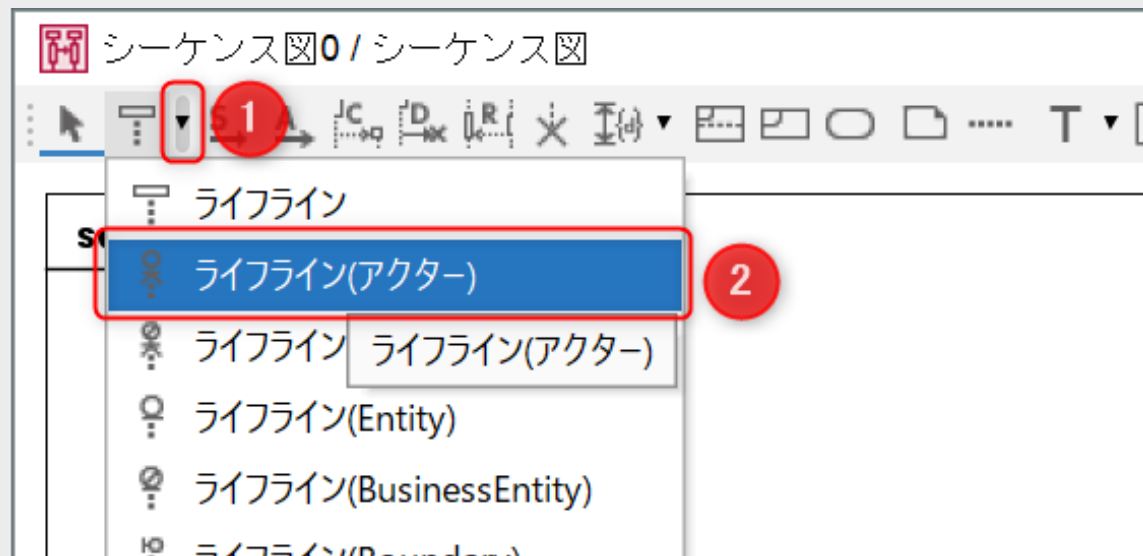
シーケンス図の作成

- 必要なシンボルはバーに並んでいるので、シンボルをクリックしてから編集画面上で再度クリックすると配置される。

※アクターはライフライン横の「▼」をクリックして「ライフライン(アクター)」を選択してから編集画面上をクリックすると追加される

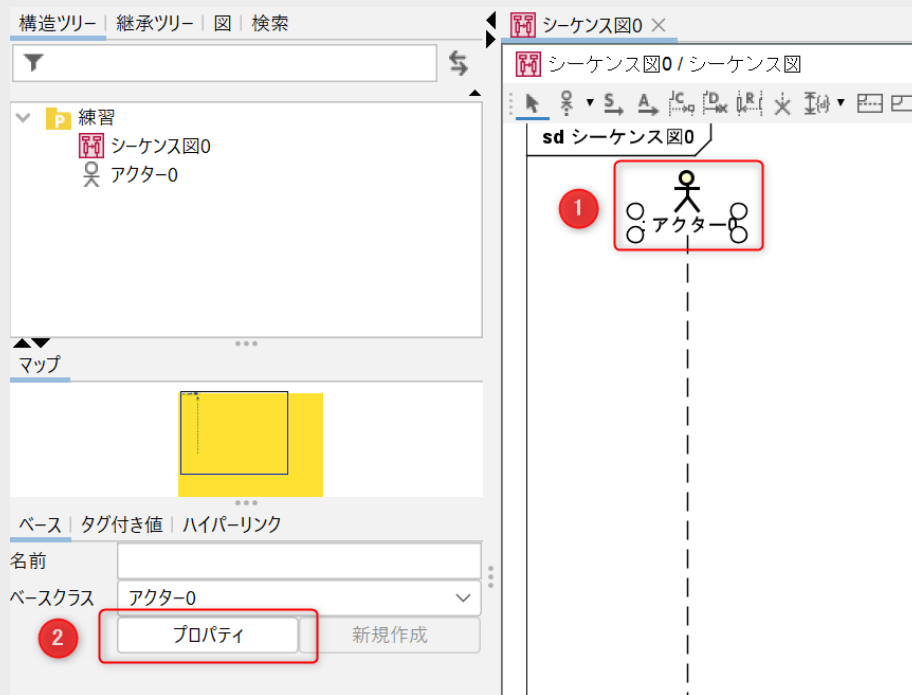
※バー左端の「 (選択)」にしてから配置後のシンボルをドラッグで移動できる。

※注意！アクターについては複数に増やそうとコピーペーストするとベースクラスが全て同じアクターとみなされるので手間でもその都度新しくシンボルを配置する方がよい



シーケンス図の作成

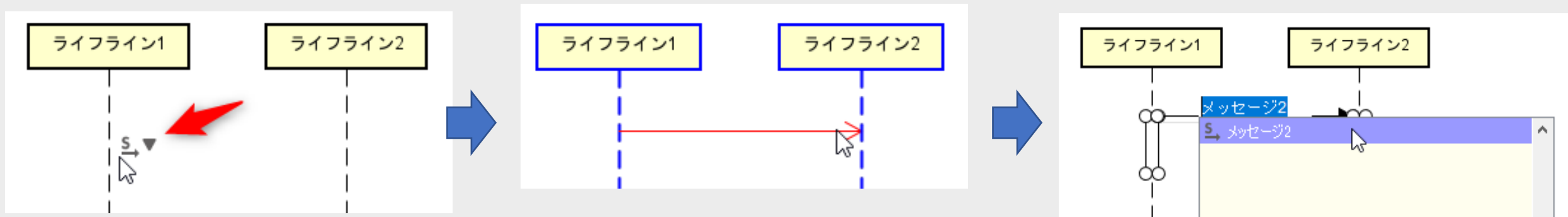
- アクター(ライフライン)の名前を変更する
 1. 対象となるアクター(ライフライン)を選択
 2. 左下のプロパティをクリック
 3. 「名前」欄の内容を修正して閉じる



シーケンス図の作成

- メッセージの追加

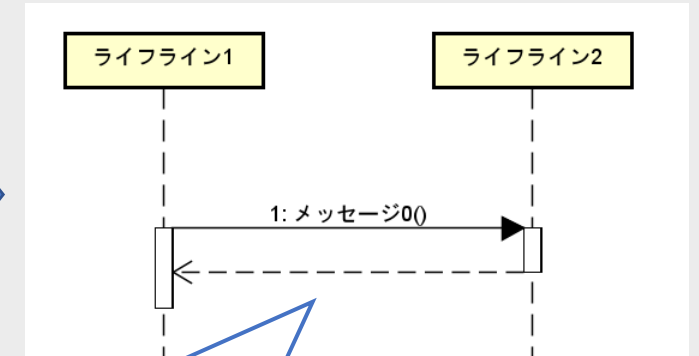
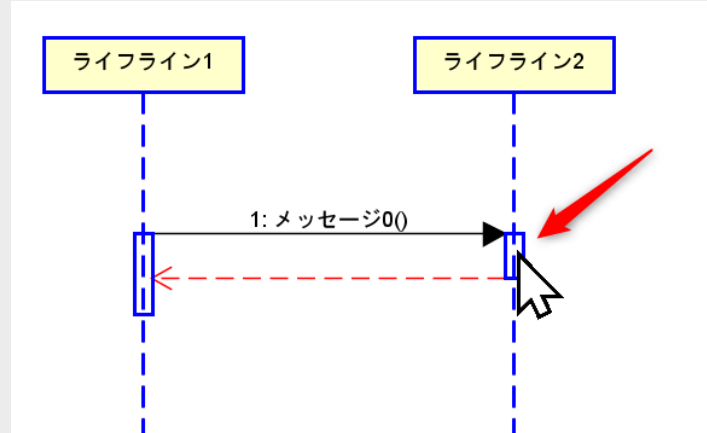
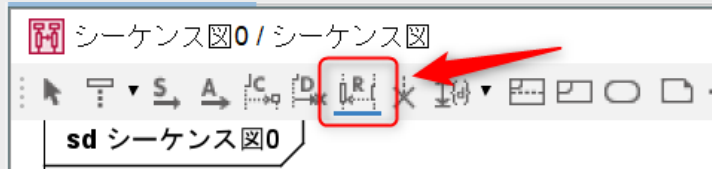
1. メッセージ送信元のライフラインにマウスを近づける
2. メッセージアイコンが表示されるのでアイコンをクリック
3. そのままマウスで送信先のライフラインをクリック
4. 「メッセージ」と書かれた箇所にメッセージ内容を入力する。



シーケンス図の作成

- リプライメッセージの操作

1. ツールバーから「リプライメッセージ」を選択する
2. メッセージ発信元の実行仕様(長方形)を選択する
3. 赤い点線が表示されたらクリックする

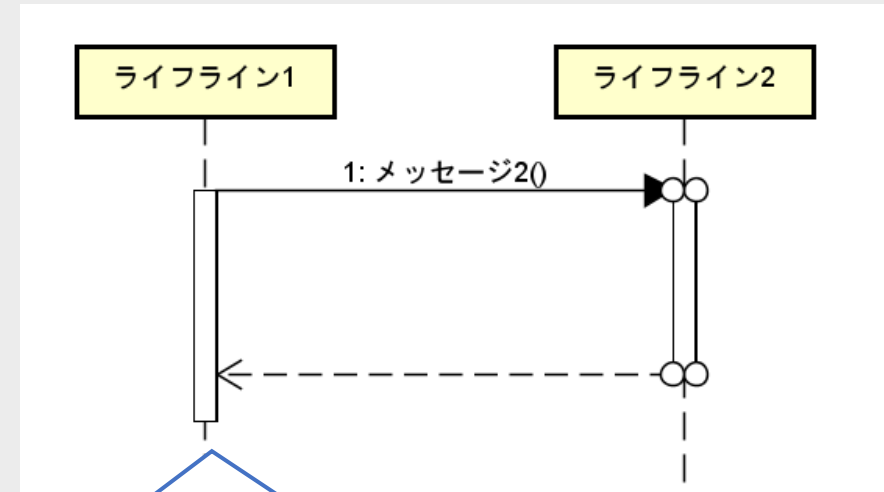
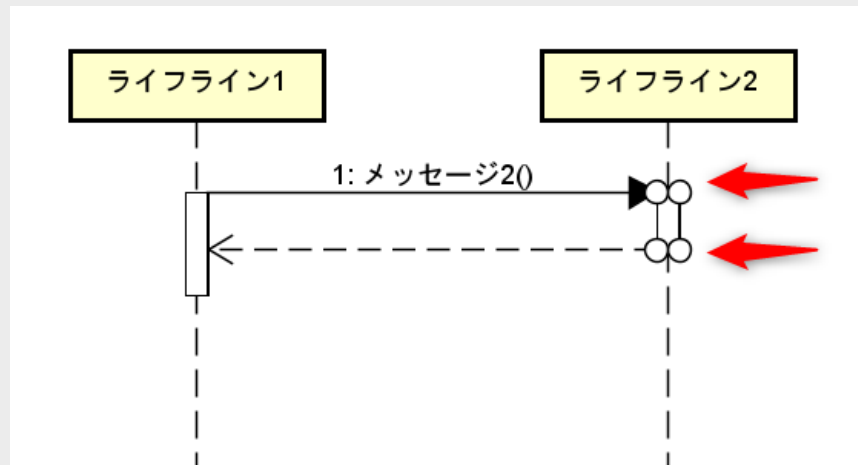


補足
プロパティの「名前」にメッセージ名を入力できる

シーケンス図の作成

- 実行仕様のサイズ変更

1. 対象の実行仕様(長方形)を選択する
2. 上下に表示される○をマウスでドラッグする

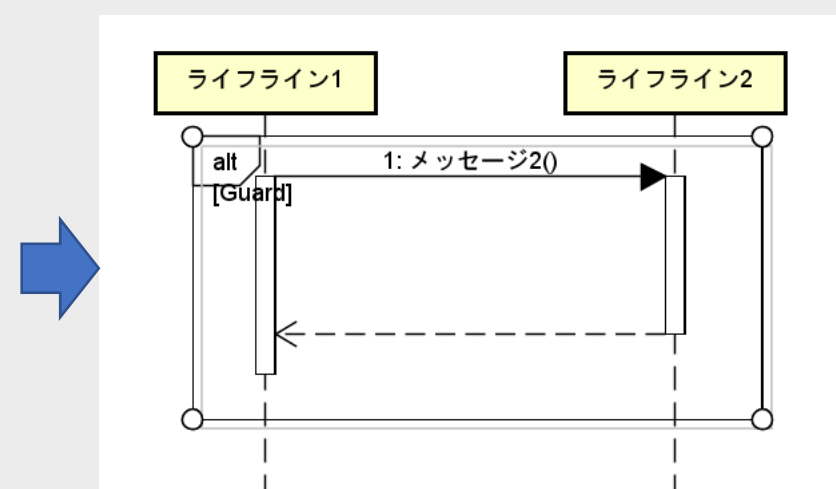
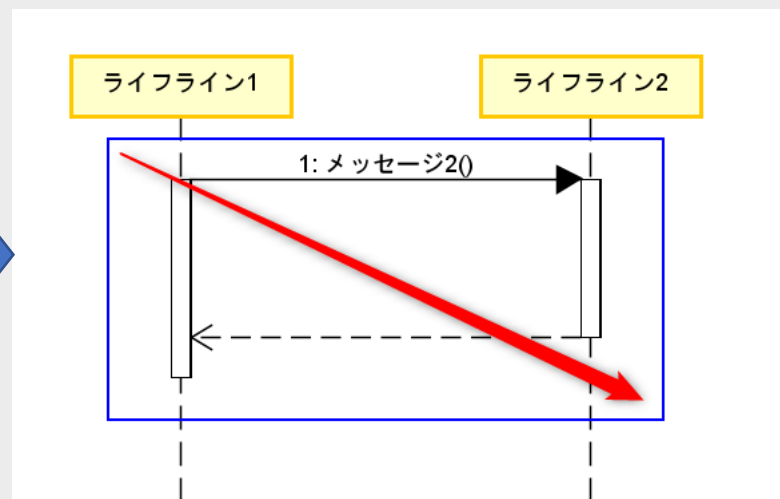
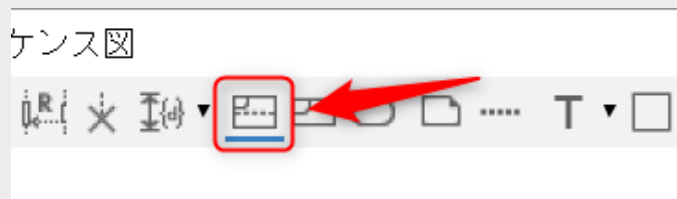


補足
関連する実行仕様も同時にサイズが変わる

シーケンス図の作成

- 複合フラグメントの配置

1. ツールバーから「複合フラグメント」を選択する
2. 対象範囲をマウスクリックとドラッグで決める
3. クリックすると配置される
4. プロパティから種類を選択する



シーケンス図の作成

- 条件分岐(alt)の表現

- プロパティの「ベース」にある「種類」で「alt」を選択
- プロパティの「オペランド」を追加してGuardに「分岐条件」を設定する

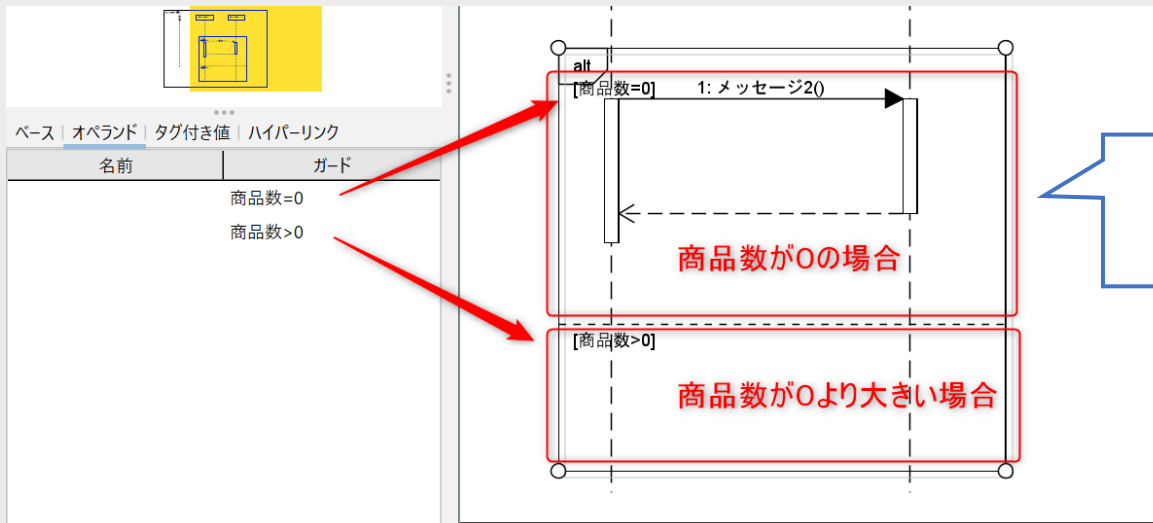
ベース | オペランド | タグ付き値 | ハイパーリンク

名前

種類 alt

ベース | オペランド | タグ付き値 | ハイパーリンク

名前	ガード
Guard	
オペランドの新規追加	

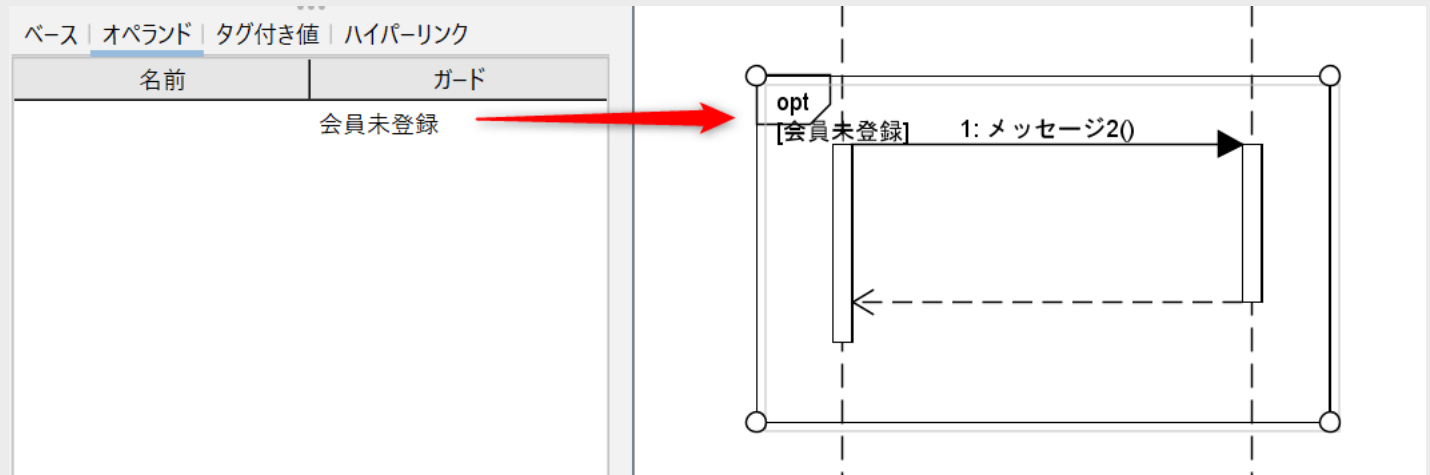


これでif~elseやswitch~caseが表現できる

シーケンス図の作成

- 条件判断(opt)の表現
 - プロパティの「ベース」にある「種類」で「opt」を選択
 - プロパティの「オペランド」を追加してGuardに「処理が行われる条件」を設定する

	ベース	オペランド	タグ付き値	ハイパーリンク
名前	<input type="text"/>			
種類	<input type="text" value="opt"/>			



これでif文が表現できる

シーケンス図の作成

- 繰り返し(loop)の表現
 - プロパティの「ベース」にある「種類」で「loop」を選択
 - プロパティの「オペランド」の名前にGuardに「ループ回数」を設定する

